

科目名	応用栄養学（卒業必修：栄養士必修：FS 必修：NR・SA 必修）				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2021 年度 前期	単位数	2		
担当教員	加藤 亮				
内容および計画	人が誕生してから一生を終えるまでの、妊娠や発育、加齢などに伴う人体の構造や機能の特徴を学んだ上で、対象者の食事（栄養素摂取）のあり方を学習する。また、健康維持・増進および疾病予防のために、栄養素の機能や補給法を学ぶことにより、健康に及ぼす種々のリスクに対する管理についての基本的な考え方や方法を学ぶ。人の健康に果たす栄養士の役割、考え方について学ぶ。				
1	オリエンテーション 栄養環境への適応 生体リズムと栄養				
2	栄養管理の考え方 栄養管理の進め方				
3	栄養素必要量の科学的根拠				
4	食事摂取基準の基礎的理解				
5	発育・発達・加齢 妊娠期・授乳期の栄養				
6	乳児期の栄養				
7	幼児期の栄養				
8	学童期の栄養				
9	思春期の栄養				
10	成人期・更年期の栄養				
11	高齢期の栄養				
12	運動・スポーツと栄養				
13	ストレス応答と栄養				
14	高温・低温環境と栄養 高圧・低圧環境と栄養 無重力環境と栄養				
15	災害時の栄養 まとめ				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	応用栄養学 第6版	木戸康博、小倉嘉夫、眞鍋祐之、青井渉	講談社	978-06-518044-0	2020
	日本人の食事摂取基準 2020 年版	伊藤貞嘉、佐々木敏	第一出版	978-4-8041-1408-8	2020
	八訂食品成分表 2021	香川明夫	女子栄養大学出版部	978-4-7895-1021-9	2021
	参考書				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	出席状況				30
	筆記試験				60
	提出物				10

提出物については、講義時間外の子復習を評価するものとする。	
学習到達目標	<p>日本人の食事摂取基準についてその理論と活用のしかたを理解する。</p> <p>個人の身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の実際を、ライフステージ別に、またライフスタイルや生活の様々な場面について対応する方法を理解する。</p> <p>対象のアセスメントを実施した上で栄養管理を行う方法とその必要性を理解する。</p> <p>アセスメントを実施し、栄養管理を行う際の望ましい栄養士の態度、考え方について理解する。</p>
先修条件	
実務経験	
その他	